

令和5年度第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	水素・再生可能エネルギー推進事業
補助事業者名	鹿児島県
補助事業の概要	脱炭素社会の実現に向けて市町村をはじめ、産学官と連携した推進体制を構築し、本県の地域特性を活かした再生可能エネルギー・水素の更なる導入促進を図った。
総事業費	29,646,043円
補助金充当額	29,646,043円
定量的目標	<p>1 再生可能エネルギー推進委員会事業 (効果) 知事が会長を務める産学官の有識者及び再生可能エネルギー事業者等で構成する「再生可能エネルギー推進委員会」を開催し、2050年の脱炭素社会の実現に向けた重要な施策である再生可能エネルギーの導入促進方を協議することにより、県下全体への再生可能エネルギーの導入促進が図られる。</p> <p>(成果目標) 本県では、豊富な森林資源や広大な海域、長い海岸線などの自然条件をはじめ、畜産業などの農林水産業が盛んであることから、多様で豊かな再生可能エネルギー資源が存在している。この恵まれた資源を最大限活用して再生可能エネルギーの導入を積極的に促進していくこととする。</p> <p>2 水素エネルギー利用促進事業 (効果) 本事業において、官民連携での水素利活用（導入）に向けた検討や、水素需要の創出または産業化に向けた取組など事業化に向けた検討を行うことにより、県内の新産業の創出や、地域活性化を実現する。 さらに、再生可能エネルギー由来水素のサプライチェーン構築の検討を行うことで、再エネの調整力としての水素エネルギーの普及拡大が図られる。</p> <p>(成果目標) 水素エネルギーの活用等に取り組む自治体、企業数：1件以上</p> <p>3 水素・再生可能エネルギー普及啓発事業 (効果) 本事業において、各種展示や体験教室、セミナー等による情報提供を行うことにより、水素・再生可能エネルギーに対する理解促進が図られる。 また、水素についてはロードマップに掲げている県民の理解促進や水素・</p>

	<p>燃料電池関連製品等の普及促進が図られる。</p> <p>(成果目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水素・再生可能エネルギーフェア来場者数：約900人 ・水素・再生可能エネルギー導入セミナー参加者数：約100人以上 ・親子再生可能エネルギー工作教室：約40人以上 ・FCVキャラバン・出前授業参加者数：約200人
<p>補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）</p>	<p>1 再生可能エネルギー推進委員会事業</p> <p>(効果)</p> <p>知事が会長を務める産学官の有識者及び再生可能エネルギー事業者等で構成する「再生可能エネルギー推進委員会」を開催し、2050年の脱炭素社会の実現に向けた重要な施策である再生可能エネルギーの導入促進方策を協議することにより、県下全体への再生可能エネルギーの導入促進が図られた。</p> <p>(成果目標)</p> <p>本県では、豊富な森林資源や広大な海域、長い海岸線などの自然条件をはじめ、畜産業などの農林水産業が盛んであることから、多様で豊かな再生可能エネルギー資源が存在している。この恵まれた資源を最大限活用して、引き続き、再生可能エネルギーの導入を積極的に促進していくこととする。</p> <p>2 水素エネルギー利用促進事業</p> <p>(効果)</p> <p>本事業において、官民連携での水素利活用（導入）に向けた検討や、水素需要の創出または産業化に向けた取組など事業化に向けた検討を行ったことにより、県内の新産業の創出や、地域活性化の実現に向けた動きが進んだ。</p> <p>さらに、再生可能エネルギー由来水素のサプライチェーン構築の検討を行うことで、再エネの調整力としての水素エネルギーの普及拡大が図られた。</p> <p>(成果目標)</p> <p>水素エネルギーの活用等に取り組む自治体、企業数：1件以上 →実績：0件 今年度は1自治体（出水市）において実証に向けた検討やポテンシャル調査を行うなど活用にに向けた動きが進んだ。</p> <p>3 水素・再生可能エネルギー普及啓発事業</p> <p>(効果)</p> <p>本事業において、各種展示や体験教室、セミナー等による情報提供を行うことにより、水素・再生可能エネルギーに対する理解促進が図られた。</p> <p>また、水素についてはロードマップに掲げている県民の理解促進や水素・燃料電池関連製品等の普及促進が図られた。</p> <p>(成果目標)</p> <p>→実績：水素・再生可能エネルギーフェア来場者数：約2,800人 ：水素・再生可能エネルギー導入セミナー参加者数：258人</p>

	: 親子再生可能エネルギー工作教室 : 39 人 : F C Vキャラバン・出前授業参加者数 : 約 1,620 人	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ: 間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約(間接補助)の目的	1 (1)水素サプライチェーン実証計画の策定 (2)事業化の調整 (3)鹿児島県水素エネルギー利活用促進検討協議会に係る報告 2 (1)水素・再生可能エネルギーフェア及び導入セミナー, 企画・運營業務 (2)水素・再生可能エネルギーフェアの各種展示や導入セミナーの会場設營業務 3 (1)水素に関するチラシの作成 (2)「燃ゆる感動かごしま国体」開会式での F C V 展示 (3)「燃ゆる感動かごしま大会」開会式での F C V 展示 (4)イベントでの展示や水素に関する実験の実施
	契約の方法	1 : 随意契約 2 : 随意契約 3 : 随意契約
	契約の相手方(間接補助先)	1 : デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 2 : 株式会社 MBC サンステージ 3 : 株式会社 MBC サンステージ
	契約金額(間接補助金額)	1 : 19,999,100円 2 : 5,874,000円 3 : 1,647,800円
来年度以降の事業見通し	推進委員会及び自治担当者会議, 水素利活用促進検討協議会において, 水素・再生可能エネルギーの導入に向けた検討等を行うほか, 県民や事業者向けのイベントを開催することで, 水素・再生可能エネルギーの普及啓発を図る。	

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。